



かみかわ町

議会だより

No. 69

令和5年
3月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和4年

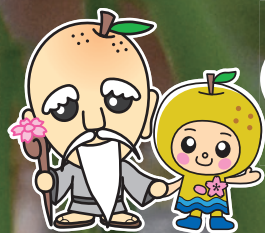
12月

定例会

物価高騰対策事業を可決 P.3

8名の議員が一般質問を行う P.4

議会活動報告 P.16



16 ページに
写真の説明があるよ

表紙シリーズ

町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

議会の傍聴について

第1回定例会は3月

3 日(金) [午前9時～ 一般質問等] から

16 日(木) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

物価高騰対策事業を可決

子育て世帯の児童に
2万円を支給



事業費：3,502万円
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなかで、光熱水費や食費等の物価高騰に直面する子育て世帯に対し、第2回目の町独自の臨時特別給付金(児童1人あたり2万円)を支給する。

農業者物価高騰対策支援金
5万円を給付



事業費：1,060万円
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、物価高騰による農業者への負担を軽減し、営農の継続を支援するため、支援金を給付する。

物価高騰分の
給食材料費を増額



事業費：437万円
物価高騰による給食材料費の不足分の増額補正を行った。

矢納フィッシングパーク リニューアル修繕費を可決



コロナ禍前の当時の写真を掲載しています。



事業費：750万円
矢納フィッシングパークが新しくなります。釣った魚を炭火焼きで食べたり、バーベキューをしたりと一日楽しめる場所になります。ぜひ足を運んでみてください。

令和5年度から国民健康保険税の税率を改正

令和9年度に埼玉県内の国民健康保険税水準の準統一(県内の各自治体で賦課される国保税率を同水準に近づけるため、一部の項目を除きその算出方法を同一にすること)が予定されています。
神川町の国保税の税率は15年近く据え置きされ、国保加入者の負担増を抑えてきましたが、収入不足が続く、国保財政調整基金の残も少なくなりました。
今回の税率改正は、現行の税率のままでは令和9年度に急激な引き上げを余儀なくされ、混乱が生じるおそれがあることから、埼玉県が示す神川町の標準保険税率に近づけるものとし、準統一での激変を緩和する目的のものです。

【改正内容】		医療給付分 (全加入者)		後期高齢者支援金分 (全加入者)		介護納付金分 (40歳以上65歳未満の加入者)	
		令和4年度 (改正前)	令和5年度 (改正後)	令和4年度 (改正前)	令和5年度 (改正後)	令和4年度 (改正前)	令和5年度 (改正後)
所得割	所得に対して	4.8%	6.3%	2.7%	2.4%	1.2%	2.3%
資産割	固定資産税に対して	30%	15%	—	—	—	—
均等割	加入者1人あたり	10,000円	25,000円	7,000円	10,000円	6,800円	15,000円
平等割	1世帯あたり	16,000円	8,000円	—	—	—	—

※令和9年度の準統一では、医療給付分の賦課方式が2方式に統一される予定のため、資産割と平等割を現行の半分に減らして2方式に近づけます。



令和4年第4回神川町議会定例会は、12月6日から13日までの8日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和4年度一般会計及び特別会計の補正予算7件、条例の制定・改正9件、報告等2件、議員提案1件が審議されました。(事業内容等は、3ページ・12ページをご覧ください。)
なお、請願書2件及び陳情書1件は不採択といたしました。また、一般質問は12月6日に行われ、8名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて、下表のとおり質問しました。

12月定例会を開催

質問者	質問事項	質問要旨	掲載頁
新井 太一	1. 安心安全に暮らせるまちづくりについて	1. 町の防犯カメラ設置整備の推進について	4
川浦 雅子	1. 経済対策と子ども支援について 2. 介護予防について(追跡質問) 3. 化学物質過敏症等について	1. 食料配布と学校の長期休み中の子ども食堂の拡充について 1. 農作業による健康維持増進と地域振興について 1. 電磁波や香り等で健康を害している方が居ることの周知について	5
柴崎 愛子	1. 役場職員の健康増進について 2. 熱中症やコロナ対策について 3. デュアルスクールについて	1. デスクチェアとしてバランスボール導入について 1. 小学生に晴雨兼用傘の配布について 1. 区域外就学制度について	6
堀川 光宣	1. 小学校教育の充実について	1. 質の高い教育環境について	7
四方田繁男	1. 町の組織体制について 2. 冬桜の宿神泉について	1. 課題解決に向けた組織体制の取組について 1. 冬桜の宿神泉の今後の運営方針について	8
坂本 貴佳	1. 町道インフラ管理について 2. グリーンベルト設置促進について(追跡質問) 3. 町所有の未使用地について(追跡質問)	1. 人家密集地の排水路について 2. 危険な通学路について 3. 道路に関する総合的な整備計画について 1. グリーンベルトの取組状況と対策について 1. 未使用地の現状と活用について	9
赤羽奈保子	1. 空家・空き地対策について(追跡質問) 2. 带状疱疹の予防接種について 3. 子どもの権利条例について	1. 改正民法第233条に対する今後の町の方針について 1. 带状疱疹への予防接種の助成について 1. 子どもを守るための条例の制定について	10
福島 康弘	1. キャッシュレス決済とまちづくりについて	1. 地域活性化の促進について	11

※一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。
※12月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。
また、町ホームページでも3月上旬から閲覧出来ます。





新井 太一 議員

安心安全に暮らせるまちづくり

◆防犯カメラ

防犯灯の設置を

安心安全に暮らせるまちづくりを進めていくためには、防犯カメラや防犯灯の設置が必要と考えます。

町でも独り暮らしの方や高齢の方がたくさんいるなか、オレオレ詐欺や怪しい業者の訪問などの話をよく耳にします。万一が起る前に対策を講じるべきだと考えます。

先進的な自治体では、各小中学校の通学路、また、全ての公園に防犯カメラを設置するなど、取組がなされています。こうした対策を強化し、防犯カメラを増やすことは、犯罪を予防するのに一定の効果があり、町でも学校周辺や道路脇、または、バス停や不特定多数が集まるような公共施設には、防犯カメラ

の設置が必要と思いますが、町の考えを伺います。

防犯灯に関しては区長からの申出による設置になっていると思いますが、まだまだ設置数が少なく、町内のメインの県道や町道でさえも「暗くて危ないな」と感じる箇所が多く見受けられます。

特に日が短くなる季節には、自転車による通学や近年健康や体力づくりのため、ウォーキング愛好者も多く、さらなる危険の増加が考えられます。

防犯や交通事故対策として各団体や住民の声を聞き、率先して防犯灯の設置を推進する仕組みを考えていただきたいが、町の考えを伺います。

併せて、防犯灯設置の現状と実績も伺います。



答え 町長

「防犯カメラは犯罪被害などの客観的な事情が必要です」

町では犯罪の予防のため、丹荘駅駐輪場に防犯カメラを設置しています。また、令和3年度から農業者や中小事業者等を対象に安心して事業に取り組んでいただくため、防犯設備を設置することにに対し補助金を交付しており、令和3年度の交付件数は3件となっています。

「防犯」を目的とした町内、特に町道への防犯カメラを設置することは、犯罪抑止効果があると考えています。一方、町道へ防犯カメラを設置することで、不特定多数の方を常時録画することになり、プライバシーへも配慮する必要があります。

防犯カメラを設置する場所は、付近で犯罪が多発している状況など、一定の正当な理由がなければ、肖像権やプライバシー権の侵害に当たる可能性が大きく、犯罪被害件数などの客観的な事情が必要と考えています。

町の防犯灯の計画的な設置整備は、歩行者の安全や防犯を目



的に約1、600灯の防犯灯を設置しています。防犯灯の設置申請は、毎年1回、行政区長から設置要望を受け、町の設置基準に基づく現地確認を行い、防犯灯を設置しています。

申請方法の拡充や担当職員による設置は、夜間の光による農作物への生育の影響にも考慮しながら、地域の状況を熟知している住民の皆様の意見を各行政区で集約していただき、行政区長を通じ設置要望を町へ提出していただくことが重要と考えています。

一般質問



川 浦 雅 子 議員

経済対策と子ども支援

◆幅広い食料支援を！

町では、生活困窮世帯へ個別に食料を配布していますが、物価高騰のなか、住民税課税世帯でも可処分所得（※注）が少なく、生活状況の悪化は深刻です。幅広くフードパントリーを行っているいただきたいです。

また、学校の長期休み中に、町独自で生涯学習施設を利用した子ども食堂に取り組むことについて、町の考えを伺います。

※注 収入のうち、税金や社会保険料などを除いた所得のこと。

答え 町長

「社会福祉協議会と連携 担い手養成に努めます」

子ども食堂では、ボランティアを中心に運営をして、毎月1回弁当の配布も行っています。現状では、さらなる実施回数の

答え 教育長

「居場所づくりを考えます」

生涯学習施設の受け入れでは、各図書室や学習スペースを利用し、食料支援と併せた子どもの居場所づくりの場としての活用も可能であると考えています。

介護予防

◆農福連携でサロン

全国的に農業と福祉の連携で介護予防に取り組んでいる地域があり、国も事業化をして後押

答え 町長

「農作業と介護予防を 検討します」

しをしています。高齢者や定年等で退職した方々も、生きがいや地域振興の担い手として励みになります。

畑でサロン等、Withコロナとしても取り組んでいただきたいが、考えを伺います。

答え 町長

定年などを契機に、生きがいや社会参加を実現していくことは、新たなライフステージを豊かにします。その一つの方法として、農業資源の活用等はフレイル予防、健康増進につながる

と考えます。

包括支援センターでの男性料理教室で使う野菜の栽培等で、農作業を取り入れる工夫等で継続的な介護予防につなげられるか、検討します。

化学物質過敏症等

◆いらいらの存在を知らせて

化学物質過敏症患者の多くが、医療や具体的な支援にたどり着

けず、理解されない苦しさを抱えている場合があります。香害や電磁波過敏症等の存在を、住民や町職員、学校関係者に周知等で、理解する取組を伺います。

答え 町長

「ホームページ等で周知します」

電磁波過敏症や香りによる健康被害が国内でも一定数あると言われています。

町では、健康被害の可能性と配慮についてホームページ等で周知します。

答え 教育長

「体調等に配慮して進めます」

化学物質過敏症や電磁波過敏症は、児童生徒の健康への支障が心配されることは認識していますので、教職員、児童生徒、保護者の理解を深めていきます。また、国内の政策であるパソコンやタブレット端末の普及が進んでいますので、体調等に配慮しながら教育を進めます。



柴崎愛子議員

役場職員の健康増進

◆バランスボール導入を

機関誌等では、以前から民間企業の職場でのバランスボール導入で大きな効果が出ています。新庁舎になって新しい椅子に成ったのですが、机は入れ変わっていません。

机の見直しと職員の腰痛や肩凝り対策、集中力アップなどの健康増進のため、バランスボール導入について町の考えを伺います。

答え 町長

「バランスボール 机の導入を研究検討します」

幾つかの自治体で導入後、腰痛の改善など一定程度見られるようです。

しかし、庁舎で使用している椅子は、体に配慮したものを選定しているため、バランスボ

ール導入は研究します。

机の見直しは、高さも低く、幅も狭いため、きちんとした姿勢での事務がやりにくい状況が事実です。新庁舎建設当時コスト面を考え、再利用をしています。導

熱中症やコロナ対策

◆晴雨兼用傘の配布を

夏場の小中学校での子ども達の行動は、環境省から出された暑さ指数に応じた熱中症予防運動指針に基づいて行動しています。

熊谷市は全ての小中学校の児童に「市オリジナルの晴雨兼用傘を配布し、登下校時に使用、児童の熱中症対策や新型コロナウイルス感染対策に実施。グラスファイバー製の紫外線カット率と遮光率は99%以上」との新聞

報道でした。

年々気温が高くなり、暑さ指数も高いことが予想されるなか、小学生に晴雨兼用の傘を配布することについて考えを伺います。

答え 教育長

「費用対効果等を 考慮して検討します」

熊谷市の取り組みは承知していますが、普通の雨傘と、晴雨兼用傘がどれほど大きな違いがあるのか、その効果はまだ検証されていません。

今後は活用している市町村の情報等を参考にしながら、晴雨兼用傘配布の必要性や児童の安全性、費用対効果等を考慮して検討していきます。

デュアルスクール

◆区域外就学制度の取組を

デュアルスクールとは、住所を移すこと無く都市と地方を行き来して学べる二つの学校のことで、受け入れるのに充分、豊かな自然があり、少人数の神泉小

いと考えました。

この事業は区域外就学制度を活用し、互いの教育委員会で協議し、承諾されれば可能です。

町としてデュアルスクールに対応した区域外就学に取り組む考えがあるか、また、現行の神川町立小中学校通学区域等の取扱いに関する基準で対応できるのか伺います。

答え 教育長

「事例を研究し 導入するか判断します」

神川町の子どもが都市部の子ども達と交流することで、違った意見や刺激を受け、豊かな人間性を育める反面、様々な影響が出ることも考えられます。

平成28年の国の閣議決定でデュアルスクールを現在の区域外就学制度でも活用できるようにになりましたが、それを実施するかは市町村に任されています。それほど多くの市町村がやっているわけではなく、事例を研究して、メリット、デメリットを検討しながら導入するのか、判断します。

一般質問



堀川光宣議員

小学校教育の充実

◆少子化に対応した 教育の見直しを

神川町総合計画では、「町内の一部では過疎化の影響から児童生徒数が減少し、行事等の実施に一部支障が生じ始めている」とあります。

渡瀬地区からも渡瀬小学校と青柳小学校統合の要望書が提出されています。

令和4年9月定例会で令和3年度の各小学校教育の児童数と運営費（人件費含む）を質問したところ、神泉小…児童16人／2、120万円、渡瀬小…児童31人／2、130万円、青柳小…児童183人／2、370万円、丹荘小…児童360人／3、180万円との答弁がありました。



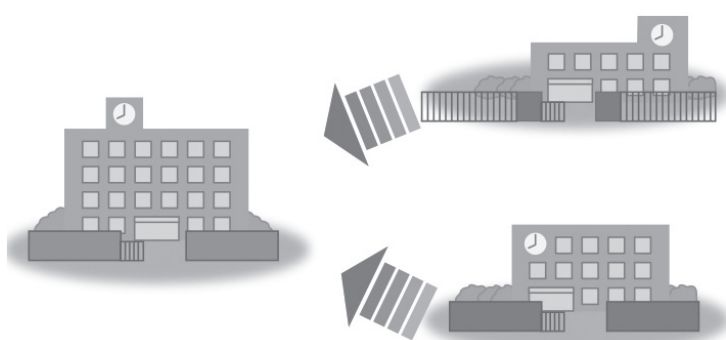
小学校の6年間は集団生活のなかで社会のあらゆる場面に通用する根本的な力を身につける大事な時期と考えます。小学校の統合により豊かな心や社会性を育む教育の推進につながるとともに、教育費を集中させることで質の高い教育を子どもたちに与えることができると思います。また、子どもたちのことを第一に考え、過ごしやすい環境づくりを税金による限りある予算の中でどう行うのか、大人が真剣に検討するべきではないでしょうか。

小学校教育の充実及び質の高い教育環境について、町の考えを伺います。

答え 教育長

「10年後をめどに、小学校4校を 1校に統合する方針で進めます」

今後の小学校の在り方につい



て、町長部局と教育委員会共催の総合教育会議等を通して、これまで意見交換をしてまいりました。その結果、10年後をめどに、小学校4校を1校に統合する方針で進めたいと考えています。

学年ごとに一定の児童数を確保し、複式学級の解消や学習指導要領の狙いに沿った授業展開が可能となります。また、児童

が一層、切磋琢磨できる質の高い教育環境を整えることができ、費用を集約化できると考えています。

今後、神川町立小学校適正規模等検討委員会からの答申を生かしながら、未来を担う子どもたちへの教育を最優先し、地域住民の皆様のご意見をお聞きしながら進めます。



四方田 繁男 議員

町の組織体制

◆具体的な行政機能強化の取組を

来年度、新神泉総合支所の開設が予定されており、町の新たな拠点として住民の期待と注目も高まっているところです。町の資源として観光、山林などを生かした組織体制の強化編成が必要と考えます。

新総合支所の開設に向けて町組織の再編成が必要になると思いますが、町として現状をどのように認識し、具体的な行政機能強化の取組をするのか。本庁からどのような部署、担当が移り、支所の行政機能をより充実させ、行政サービス向上を図っていくのか、町長の考えを伺います。



活用が期待される
新神泉総合支所完成イメージ

答え 町長

「主体的な促進体制 増員も予定しています」

現在建設中の神泉総合支所には、森林や清流等の豊かな自然を生かした観光資源や人と人のつながりをこれまで以上に盛り上げるなど、地域のにぎわいを創出する拠点となることが期待されています。

町では、このような期待に応えられるよう、令和5年4月の

ていくのですか。

また、指定管理者制度を継続していくのかも含め、今後の運営方針について町長の考えを伺います。

答え 町長

「指定管理者制度ではなく 民間活用を精査しています」

冬桜の宿神泉は、本年4月から休館しており、皆様に大変ご心配、ご迷惑をおかけしています。同施設は、神川町公共施設再配置計画で民間移譲を検討することになっており、指定管理者制度の活用は考えていません。

また、現在は民間で活用していた方向で検討、準備を進めており、地域活性化起業人や民間事業者から伺った施設の活用方法や移譲の条件等に関する意見を参考に、町や地域にとって最適な活用方法を精査している段階です。

施設の維持費もかかっており、地域への経済効果等も考慮し、できるだけ早期に民間で活用していただくよう研究しています。

一般質問

町所有の未使用地

◆未使用地の有効利用を

四軒在家にある町所有で未使用の土地約3,700㎡は、令和3年3月の定例会で質問し、使用目的が決まっていなかった回答を得ました。その後、議会での会議でも観光農園として使用等が提言された経緯がありますが、税金の無駄使いに成らないような有効利用をしていただきたいが、その土地の現状はどうなっているか伺います。

答え 町長

「売却を含め 有効利用を検討します」

四軒在家の土地は、浄水場建設予定地として買収し、平成27年4月1日に計画変更となり、当初目的の利用予定はなく、上水道事業のなかで未使用地として管理し、令和4年度は神川町シルバー人材センターへ除草作業の委託を年2回行っています。土地利用は、関係機関と調整しながら売却を含め、幅広く有効利用を検討します。

一般質問



坂本貴佳 議員

町道インフラ管理

◆時代に即した町道整備を

小浜、四軒在家の人口密集地にある通行に不便で危険な側溝は、若者の定住検討にも影響がある様に思えますが、改修整備計画はどうなっていますか。また、関口から元阿保までの通学路で、危険とみられる箇所を進められている開発行為の審議・許可するなかで、交通安全に対する検討が行われたか伺います。道路維持管理及び通学路の安全確保は、長期的・俯瞰的に進める必要がありますが、現状認識と今後の考え方を伺います。

答え 町長

「安全優先で 道路整備を進めます」

ご指摘の排水路は、農業用に整備されたふたのない側溝のた

め、自動車等の転落等の可能性もあり、安全を調査し道路整備を進めます。

指摘の危険な通学路は、30キロ規制要望を児玉警察署へ提出し、危険除去は町の開発協議会から設置者に対し、工事期間中及び運営後の安全管理の徹底しました。

今後とも町民・来町者の安全優先で長期的、広い見地に立った道路整備計画を進め、安全な道路の整備を進めます。



グリーンベルト設置促進

◆安全な通学路を グリーンベルトで

令和2年12月の定例会で質問



赤羽 奈保子 議員

空家・空き地対策

◆民法改正の周知を

町でも荒れた空き地や空き家の整備は様々な対応をしていますが、抜本的な対策をするのは難しい状況だと思っています。

令和5年4月から民法第233条が改正され、不動産に関するルールの変更、民法に関する相隣関係が見直されます。

今から法改正の周知を進め、草木が生い茂る前に困っている方への対応等ができると思うのですが、町の考えを伺います。

【制度を】

【制度を】

今回の改正により、隣地から樹木の枝が越えているため、隣地の所有者に枝を切るように通知したが、相当の期間が経過し

◆帯状疱疹の予防接種

◆帯状疱疹ワクチンの助成を

帯状疱疹は、水疱瘡と同じウイルスで起こる皮膚の病気で、症状の多くは上半身に現れます。帯状疱疹ワクチン接種が医療費削減にもつながると考えるのですが、今後助成をしていく考えはあるか、町の見解を伺います。

【接種費用の】

【接種費用の】

ワクチン接種はウイルスに対する免疫力を高め、発症を予防するとともに、発症したとしても軽症で済み、後遺症の予防や、医療費軽減も期待できます。

一方で、任意接種のため、副反応や健康被害等についても予防効果と併せて周知する必要があります。

町としては、ワクチン接種費用の助成は様々な状況を勘案し、検討します。

◆子どもの権利条例

◆子どもの権利を守る取組を

自殺やいじめの問題、貧困の問題、ヤングケアラーの問題、虐待など、「助けて」と言えない、「仕方ない」と諦めてしまいう子どもたちや、周りの大人も子どもの権利を学ぶことで、自分の権利について考え直す機会

になるのではないのでしょうか。つらい思いをする子どもがいなくなる町をつくるためにも、子どもの権利に関する条例を策定し、啓発していくことが大切だと考えますが、町の考えを伺います。

【条例制定に向け準備します】

子どもの権利条例は、平成元年に国際連合で定められた子どもの権利条約に基づいて、子どもの最善の利益を第一に考えながら、子どもの権利を守るため、各自自治体の実情に合わせ、具体的に分かりやすく定めるとともに、権利を保障するための大人の役割や自治体の取組等について定めるものであります。

神川町でも、いじめや虐待等から子どもを守り、子どもの最善の利益を第一に考えた町政運営が重要です。そのため条例で子どもの権利を守る基本的な考え方を定めておく必要があります。今後条例制定に向けて準備をしていきます。



福島康弘 議員

キャッシュレス決済とまちづくり

◆活性化の一助
近隣同様事業実施を

人口減少が続くなか、地域活性化が本町当面の課題と考えていますが、秩父地域では早くからキャッシュレス化の官民連携の取組、近隣市町でもキャッシュレス決済事業と連携し、市内対象店舗でのお買物に対してプレミアムポイント为消费者に付与し、成果を上げています。

本庄市は2020年、2021年、2022年に2回の計4回、上里町は2020年、2022年の計2回、また、隣の藤岡市は12月からキャッシュレス決済事業を行っています。

QRコードがあれば消費者が各々支払金額を入力することで、確認、支払い完了と手続は簡素化されています。ポイントを付与する目的として、レジャー、

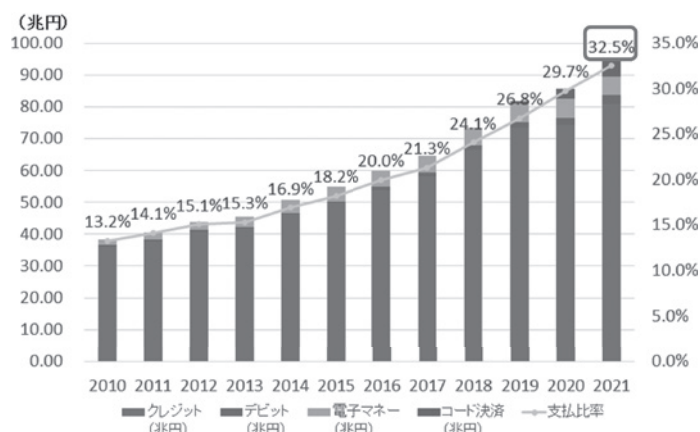
【経済対策の選択肢の】

【経済対策の選択肢の】

町でも、近隣市町同様、キャッシュレス決済事業を進めてはどうでしょうか、町の考えを伺います。

本庄市、上里町が実施しました事業は、キャッシュレス決済事業者と連携して実施しているキャンペーンで、期間中に対象店舗でキャッシュレスによる支払いを行うと、最大30%のポイントが還元されるものであり、

キャッシュレス支払額及び決済比率の推移



出典：経済産業省ウェブサイト
(<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220601002/20220601002.html>)

キャッシュレス決済を活用し地域経済を盛り上げていく取組であると承知しています。

一方、神川町では地域経済の活性化の施策として、グルメ商品券やプレミアム付商品券事業を令和2年度から計3回実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小した地域経済の活性化に一定の効果を上げています。

本庄市や上里町と同様のキャッシュレス決済事業の実施は、

町内では対象店舗が他市町と比べ少数であることなど慎重に検討すべき課題もありますが、商品券の発行や換金などの作業が不要であること、今後ますますキャッシュレス決済が普及していくことが想定されるなどメリットもあります。

町では、近隣市町の実施状況や事業の効果など情報収集を進め、今後の経済対策の際にはキャッシュレス決済事業について選択肢の一つとして考えます。

● ● ● 12月定例会議案一覧及び審議結果「請願・陳情等」 ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
請願・陳情・議員提出	町道認定並びに舗装整備の件 総務経済常任委員会は不採択で、本会議でも不採択になりました。 ※14ページをご覧ください。	×
	町道1212号線舗装整備の件 総務経済常任委員会は不採択で、本会議でも不採択になりました。 ※14ページをご覧ください。	×
	感染症対策における子どもの権利に関する陳情 文教厚生常任委員会は不採択で、本会議でも不採択になりました。 ※14ページをご覧ください。	×
	神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 町長等の期末手当の改定同様に、町議会議員の期末手当を改定する。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

● ● ● 各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く） ● ● ●

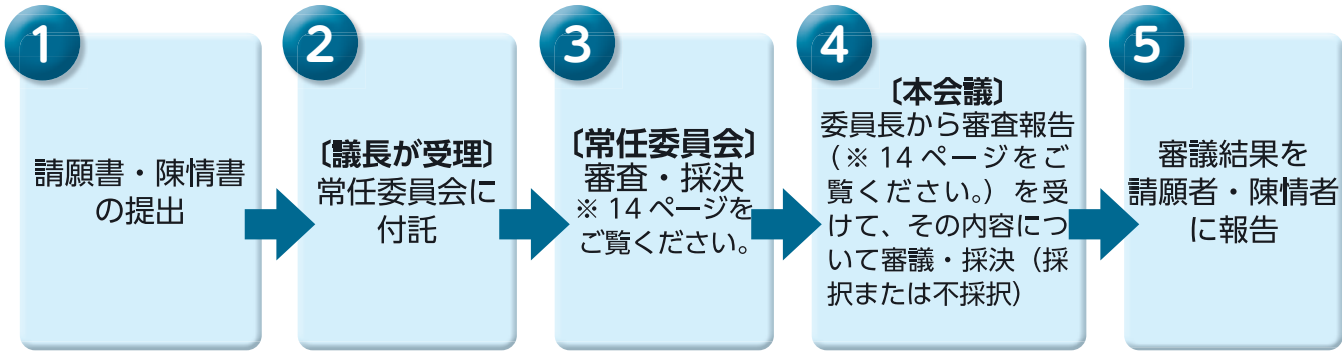
議案名称		議決等の結果	1 四方田 繁男	2 新井 太一	3 田中 隆久	4 川浦 雅子	5 野口 弘吉	6 坂本 貴佳	7 清水 敏信	8 堀川 光宣	9 柴崎 愛子	10 福島 康弘	11 落合 周一	12 赤羽 奈保子
町長提出 議案	神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	-	×	○	○	-	○	○	○	○	○
請願・陳情	請願第1号 町道認定並びに舗装整備の件	不採択	×	×	-	○	×	○	-	×	×	×	○	×
	請願第2号 町道1212号線舗装整備の件	不採択	○	○	-	○	×	○	×	×	×	×	○	×
	陳情第2号 感染症対策における子どもの権利に関する陳情	不採択	×	×	-	×	×	×	-	×	×	×	×	×

○ 賛成 × 反対

— 清水敏信議長（議事進行）は採決に加わりません。
なお、請願第2号の採決は可否同数のため、議長裁決を行いました。
— 田中隆久議員は、療養のため、欠席です。

議会
豆知識

請願・陳情の審議の流れ（請願同様の取り扱いの場合）



● ● ● 12月定例会議案一覧及び審議結果「予算等」 ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出 議案	令和4年度神川町一般会計補正予算（第6号） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、子育て世帯への臨時特別給付金事業3,502万円など。歳入歳出各1億584万2千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各68億3,751万5千円とする。	○
	令和4年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各8,456万9千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各16億2,125万8千円とする。	○
	令和4年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各16万1千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各1億6,698万4千円とする。	○
	令和4年度神川町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各97万2千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各12億6,564万3千円とする。	○
	令和4年度神川町観光事業特別会計補正予算（第2号） 城峯公園の指定管理料の債務負担行為を設定する。	○
	令和4年度神川町水道事業会計補正予算（第3号） 第3条の水道事業収益的収入及び収益的支出の予定額を2億8,907万2千円とする。	○
	令和4年度神川町下水道事業会計補正予算（第1号） 第3条の下水道事業収益的収入及び収益的支出の予定額を1億1,478万5千円とする。	○
	専決処分につき承認を求めることについて 令和4年度神川町一般会計補正予算（第4号）を承認する。	○
	専決処分につき承認を求めることについて 令和4年度神川町一般会計補正予算（第5号）を承認する。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

● ● ● 12月定例会議案一覧及び審議結果「条例」 ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出 議案	神川町個人情報の保護に関する法律施行条例 個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、条例を制定する。	○
	神川町情報公開・個人情報保護審査会条例 個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、条例を制定する。	○
	神川町情報公開条例の一部を改正する条例 個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例 地方公務員法等の一部改正に伴い、職員の定年引上げ等に関し所要の改正を行う。	○
	神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する。	○
	神川町町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職員と同様に町長等の期末手当の支給率を改正する。	○
	神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職員と同様に神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する。	○
	神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国民健康保険の健全な財政運営を図るとともに、令和9年度国民健康保険税県内統一税率の導入に向け税率を見直すため、所要の改正を行う。	△
	神川町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 公職選挙法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

議会日誌

*本誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

10月

- 4日 県町村議会議長会議員研修会
- 15日 本庄地方地域安全大会
- 18日 常任委員会合同行政視察
(長野県野沢温泉村)
- 19日 常任委員会合同行政視察
(長野県御代田町)
- 25日 議会だより編集部会
- 26日 臨時議会運営委員会
- 30日 イルミネーション設置作業

11月

- 1日 全員協議会
議会活性化研修会
- 2日 県町村議会議長会広報研修会
- 8日 児玉広域議会行政視察
- 14日 文教厚生常任委員会行政視察
(栃木県宇都宮市)
- 18日 郡議長会役員会
- 21日 税制改正要望受け入れ
- 24日 議会運営委員会
- 28日 消防審議会

12月

- 1日 全員協議会
議会だより編集部会
- 2日 冬の交通事故防止運動
- 6日 第4回定例会(一般質問・条例改正・補正予算等、説明)
- 7日 総務経済常任委員会
- 8日 文教厚生常任委員会協議会
文教厚生常任委員会
- 9日 臨時全員協議会
- 10日 イルミネーション点灯式
- 13日 第4回定例会(条例改正・補正予算等、質疑・採決)
臨時議会運営委員会
新神泉総合支所建設工事視察
- 17日 塙保己一賞表彰式
- 23日 児玉広域議会第4回定例会

議会も協力

イルミネーション設置作業

10月30日(日)、神川町商工会主催のイルミネーションの設置作業に議員も参加しました。

担当場所は役場の南側で、スマイルやトナカイ、イルカ等のモチーフを設置しました。

点灯式では、夕暮れの中、色とりどりのイルミネーションに、「ウキウキ、ワクワク、マシマシ」気分上々の出来栄え!と自画自賛です。



町内図書室の意見交換を実施

12月8日(木)、文教厚生常任委員会協議会を開催し、教育長と生涯学習課から町内の図書室について現状説明があり、課題の把握及び要望点を協議しました。

各図書室の利用者は、親子や高齢者が多く、利用時間は、施設により違いはありますが、さほど不都合もなく、町内図書館間での本の貸出し、近隣市町図書館の相互利用での図書貸出しも可能で、また、フリーWi-Fiや町：電子図書の導入もあり、利用のし易さを感じました。

町には、世代間交流の場、学生の勉強場所の充実・取組を要望しました。



工事中の新神泉総合支所を見学しました

令和5年2月末完成予定の神泉総合支所ですが、12月議会最終日の令和4年12月13日(火)午後見学しました。

外観はほぼ形が見え、内部は地元神泉の50年物の檜が張られます。多目的交流施設と民間バス、町営バスの発着場と集約され機能的な場所を予定しています。

屋根の開閉が出来る屋外テラスで飯盛山(通称：大神山 だいじんやま)を眺めながら、お茶しましょう。

開庁は4月3日予定です。



総務経済常任委員会 請願2件を慎重審査

12月7日(水)、総務経済常任委員会を開催し、紹介議員及び執行部から建設課職員の出席を求め、現地では、請願者立ち会いのもと、関口地区の「町道認定並びに舗装整備の件」「町道1212号線、舗装整備の件」の請願書2件を慎重に審査いたしました。

紹介議員から、「当該用地の状況や請願に至った理由」、執行部からは、町の考え方、及び、今後の事業の見通しについて説明がありました。

委員からは、「舗装整備より、道路の認定が先ではないか」「現状は、道路として支障があるようには見えない」とのことから、採決の結果、不採択といたしました。



文教厚生常任委員会 陳情1件を慎重審査

12月8日(木)、全員協議会室で、『埼玉有志こどもの笑顔を守る会』からの陳情書に関し委員会で審査しました。

当日は説明者1人、傍聴者2人(内1人幼児)のなか、陳情内容の説明を受けた後、学務課から陳情内容に関し神川町の現状と対応状況を確認しました。町内の学校等では既に陳情内容について、先生をはじめ、児童、保護者に対しても実施していることから、陳情にある見直しを図る必要はないとの意見が多く、採決した結果、不採択に至りました。



陳情の委員長報告要旨

・文教厚生常任委員会

陳情第2号「感染症対策における子どもの権利に関する陳情」につきましては、「マスクをしない方が良い」との主張ではなく、「マスクをつけている人」も「マスクをつけていない人」も、お互いの子どもの人権を尊重するためのものであります。

委員からは、「マスク着用の基準があいまいなため、目安を示すことが大事ではないか」「陳情内容は、すでに教育委員会から各学校に指示が出ており、学校でもマスクをつけられない人の考えは尊重しているように思える」「陳情の趣旨は理解しているので、反対ではない」などの意見もありました。

しかし、多数の委員の意見は、すでに取り組んでいることを、改めて、取り組むよう求めることは難しいとのことから、採決した結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

請願の委員長報告要旨

・総務経済常任委員会

請願第1号「町道認定並びに舗装整備の件」は、町道認定、舗装整備を求めるものであります。

しかし、「舗装整備より、道路の認定が先ではないか」「道路認定後の維持管理を含めた予算等の関係もある」「現状は、道路として支障があるようには見えない」とのことから、採決の結果、不採択といたしました。

また、請願第2号「町道1212号線、舗装整備の件」は、舗装整備を求めるものであります。しかし、「道路は傷んでいるようには見えない」「ほかにも使用できる道路があるので、必要ないのではないか」「優先順位を考えての判断が必要ではないか」とのことから、採決した結果、不採択といたしました。

議 会 活 動 報 告

総務経済常任委員会 小水力発電を視察

令和4年10月18日（火）、文教厚生常任委員会と合同で長野県野沢温泉村の「農業用水の高低差を利用した小水力発電施設」を視察しました。

野沢温泉村議会議長や担当職員から、事業のいきさつをはじめ、地域との協力体制、事業費の財源確保などの説明を受けてきました。

小水力発電の導入には、水利権や許認可など、複雑な手続きがあると思いますが、町の歳入増加や再生可能エネルギーの活用の可能性からも、小水力発電事業化の検討の重要性を改めて確認しました。



文教厚生常任委員会 先進地を視察

令和4年10月19日（水）、介護保険料が低額の長野県御代田町に視察研修に行きました。議長をはじめ、健康福祉課の皆様、介護予防活動の説明をいただき、その後NPO法人御代田はつらつサポーターの活動の場『エコールみよた』にて、参加者・サポーターの方々が行っている音楽療養、健康運動の実践状況を確認しました。神川町でも介護保険料の減額を目指すよう研究・活動していきます。

また、11月14日（月）は、平成17年より小規模特認校に指定された宇都宮市城山西小学校を視察研修しました。この学校の統合や廃校等の危機から現在に至るまでの経緯、特色ある教育方針、放課後活動、地域連携等から成り立っている現状を確認しました。神川町での人口減少に伴う小学校の統合・廃校問題の参考にします。



写真タイトル： 神泉のカタクリ

📷 撮影 フォーカス友の会 舟山 俊策さん

撮影場所：大字上阿久原地内

撮影日：令和4年3月31日

撮影者：カタクリと三ツ葉ツツジが、互いに協調するかのよう、一緒に咲いていた。カタクリは咲いている場が広がったような気がした。手入れをしておられる人に感謝。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。



【 6月定例会は、6月6日（火）から開催予定です。 】

●編集 神川町議会運営委員会 ☎367-0292 児玉郡神川町大字植竹909

●発行 埼玉県児玉郡神川町議会 ☎0495(77)0707 Fax0495(77)5771

<http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

